

# 消防救急無線のデジタル化と通信指令センターの共同運用について

平成 25 年 1 月 17 日  
桑名市消防本部

## 1 消防救急無線のデジタル化

消防救急無線は、消防救急活動の高度化及び電波の有効利用の観点から、平成 15 年 10 月の電波法関係審査基準の一部改正に伴い、平成 28 年 5 月 31 日までに、現在の、アナログ方式による 150MHz 帯周波数から 260MHz 帯でのデジタル方式に移行(デジタル化)することとなっています。

これに伴い、次の整備が必要になります。

- ・ 共通波（統制波・主運用波）の整備
- ・ 活動波の整備
- ・ 通信指令システムの整備

### (1) 共通波の整備

共通波とは、主に緊急消防援助隊の活動、管轄区域を超える支援活動における消防機関相互の連絡手段として、また、活動波の輻輳時に、使用されるものであり、統制波と主運用波があります。

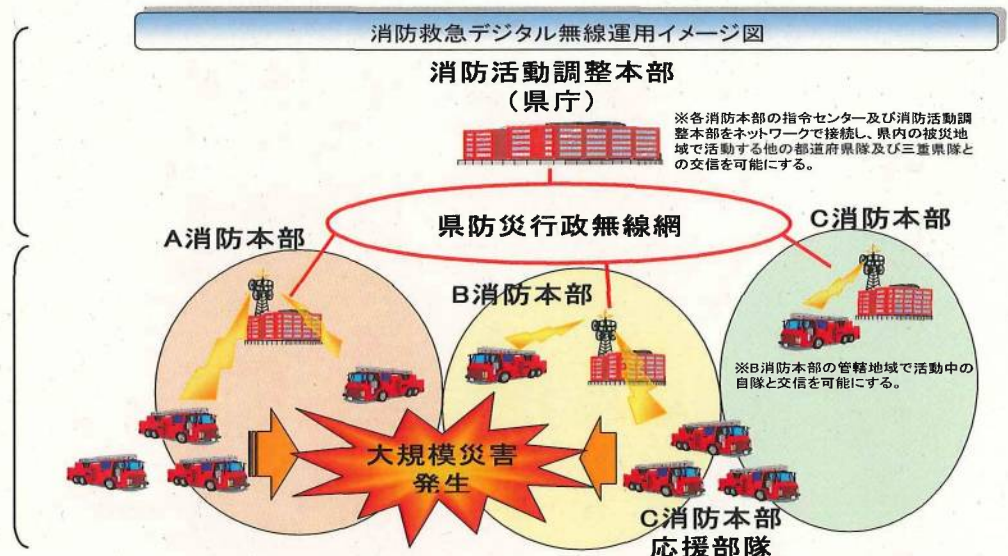
その使用目的から、現在整備されている三重県防災行政無線網を活用することにより、無線の広域化及び共同化が可能であることから、県域一体で整備することとなりました。整備については、三重県市町総合事務組合が主体となり、工事施工は、同組合から三重県に委託し、平成 24～26 年度の 3 ヶ年で整備工事を実施し、平成 27 年度には、県域での消防無線交信が可能となる予定です。

### (2) 活動波の整備

活動波とは、市町村等がそれぞれの消防・救急業務の管轄地域において、消防・救急業務の活動を行う場合に使用されるものです。

そのため、活動波の整備は、通信指令システム整備や消防本部ごとに異なる無線運用などの問題から、各消防本部で整備することとなりました。

整備するにあたり、「実施設計」「基地局・陸上移動局・携帯局の整備、工事」が必要になります。



### (3) 通信指令システムの整備

通信指令システムとは、主に119番通報を受信し、指令回線により消防隊・救急隊等を出動させるシステム全般のことです。

現在、桑名市消防本部2階において、桑名市消防本部と四日市市消防本部が通信指令システムの共同運用を行っていますが、平成28年5月31日までに消防救急無線がデジタル化されるにあたり、通信指令システムも整備する必要があります。

## 2 新通信指令センターの概要について

### (1) 設置の目的

本市では、平成19年4月から県内では初の試みとして、四日市市と共同で通信指令センターを桑名市消防本部内に設置して運用を行っています。

今回、消防救急無線のデジタル化（平成28年5月末期限）に伴い、新たな通信指令システムを構築する必要があり、四日市市と桑名市及び菟野町の3消防本部で、平成28年4月の運用開始を目指して準備を進めています。

#### 通信指令センターの概要

位置	四日市市曾井町 391-2 中消防署中央分署 3階の一部
面積	580 m <sup>2</sup> (3階 993 m <sup>2</sup> の一部)
施設	指令センター、通信機械室 事務室、会議室、仮眠室 食堂、浴室
予定人員	27人



(桑名通信指令センター)

### (2) 3消防本部の管轄区域の現況

	桑名市消防本部	四日市市消防本部	菟野町消防本部	合計
管轄面積(H24)	394.57 km <sup>2</sup>	220.28 km <sup>2</sup>	107.28 km <sup>2</sup>	722.13 km <sup>2</sup>
管轄人口(H24)	221,779人	337,976人	41,171人	600,926人
世帯数(H24)	83,282世帯	138,504世帯	15,122世帯	236,908世帯
消防職員数(定数)	246人	320人	46人	612人
火災件数(H23)	110件	124件	9件	243件
救急件数(H23)	7,839件	13,567件	1,360件	22,766件
119番着信数(H23)	11,659件	19,286件	1,868件	32,813件
通信指令員(H24)	12人	15人	6人	33人

### 3 今後の整備スケジュール

消防救急無線の共通波は平成24~26年度に本体工事を行い、活動波及び通信指令センターについては、平成25年度に実施設計、平成26~27年度に本体工事を行い、平成28年4月から運用を開始する予定です。

◎ 整備スケジュール

実施年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
共通波(県にて実施)		本体工事			
活動波		実施設計	本体工事	移行工事(併用運用)	運用開始
指令センター					
既存システム					

4 事業費及び費用負担

(1) 共通波整備費 (三重県市町総合事務組合で整備)

三重県域の整備費：25億3,000万円

※ 財源は、三重県市町村振興基金及び三重県市町総合事務組合の起債(緊急防災・減災事業債、防災対策事業債)により整備します。

※ 起債償還分は、各市町が三重県市町総合事務組合に対して毎年負担(桑名市消防本部：H41までに総額約6,200万円負担)しますが、交付税で措置されることとなっています。

(2) 活動波整備費

- ・実施設計費(3消防本部) 1,496万円
- ・整備費(桑名市消防本部) 2億4,926万円
- ※ 3消防本部の整備費合計：7億7,700万円

(3) 新通信指令センター整備費(3消防本部で整備)

事業内容	事業費	備考
指令センター実施設計	861万円	3消防本部で按分
指令センター整備工事	8億8,500万円	3消防本部で按分
中央分署改修工事	3,300万円	3消防本部で按分
現指令センター撤去工事	420万円	四日市市・桑名市で負担

※ (1)の整備費は平成23年3月の「三重県消防救急デジタル無線基本設計実施協議会」の概算見積です。

※ (2)及び(3)の整備費等は業者の概算見積です。